

日本の英語教育の 変化に対して 学習塾がすべき事

ANNIE.. GLOBAL
EDUCATION
有限会社 N教育
代表取締役 中澤 理

ANNIE..
GLOBAL
EDUCATION

有限会社 N教育

ANNIE.. GLOBAL EDUCATION

□ なかざわ・塾

一人ひとりに親身な指導！

小学生・中学生・高校生を対象とした個別指導型学習塾。

□ 英語スクール アニー

「本物の英語力」が身につく完全英語レッスン！

幼児から社会人を対象としたネイティブ外国人講師による英語スクール

□ 脳力開発コンテンツ

速読国語力太郎、英文読解トレーニング教室Sr.MaX、玉井式図形の極、
玉井式Eeそろばん、もののしくみ研究室

英語スクールアニー

- ❑ **英語スクールアニー**
幼児から社会人を対象としたネイティブ外国人講師による英語スクール
- ❑ **ANNIE INTERNATIONAL SCHOOL**
イマージョン教育を取り入れたアフタースクールでバイリンガル育成
- ❑ **自治体との小・中学校英語活動 プログラム開発 愛知県田原市**
- ❑ **自治体サマーキャンプ**
- ❑ **私立中学校と提携**
- ❑ **ALT派遣**

- ❑ **アニーオンラインレッスン**
オンラインのレッスン提供
- ❑ **Annie Jr. English**
タブレットでできる英語スクール
- ❑ **海上保安庁**
- ❑ **Bリーグ 三遠ネオフェニックス**
プロ選手・Under-15
- ❑ **企業英語研修**



新小学校学習指導要項

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技術を身に付けるようにする。

(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。



つまり

1. 知識（従来型の英語教育）
2. 音声で慣れてから
コミュニケーションを行う力をつける
3. 世界の中の日本を意識させる

New Horizon 6th Unit 4

Unit 4

Summer Vacations in the World

Our Goal 世界と日本の夏休みの過ごし方を比べよう。

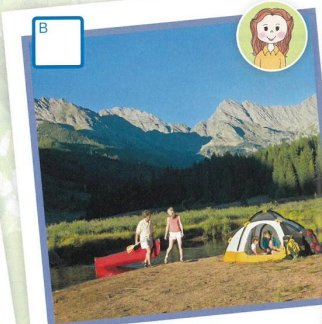
Starting
Out



夏休みの過ごし方について、聞こえた順に□に番号を書こう。



ice cream



camping



department store



Let's Read
and Write 1

p.87

→ I went to the mountains.

Small Talk



34

Where did you
go this summer?

Word Link

Picture Dictionaryを見てね!



したこと ▶ p.18



自然 ▶ pp.12-13



Sounds and Letters

A a ▶ p.92



E e ▶ p.92



35

Let's
Sing

We love summer vacation.

Let's
Chant

Did you enjoy camping?



Let's Try 1

ワードゲームをしよう。



C

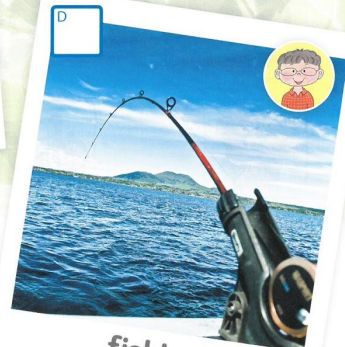


sea



watermelon

D



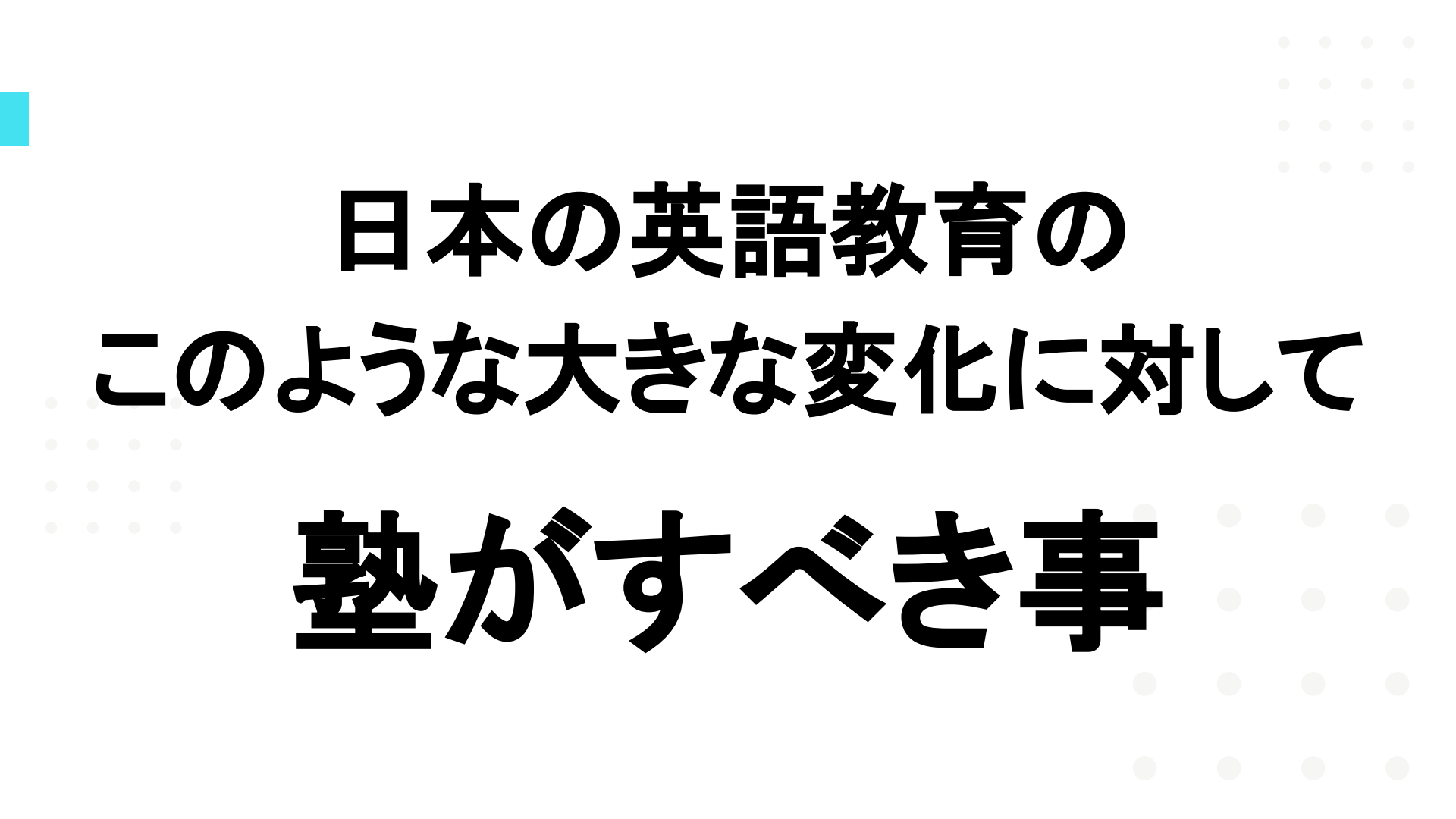
fishing



Let's Read
and Write 2

p.87

→ I enjoyed camping.



**日本の英語教育の
このような大きな変化に対して
塾がすべき事**

其の1



大人の考えを
変えるべし



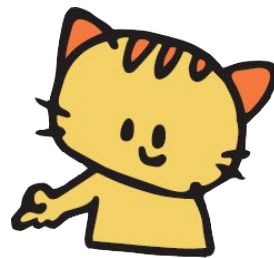
❑ 塾講師の英語教科指導の概念を
とりはらう

❑ 保護者への周知

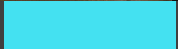
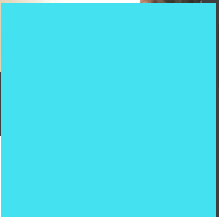
❑ 言語習得のルール(聞く→話す→
読む→書くの順で習得)を知り、講
師と保護者が共有する



其の2



圧倒的なリスニング量を
確保すべし



□ **リスニング量なくして
英語習得なし**

□ **小学校低学年からのスタートを
推奨**

□ **リスニング量かつプログラムが
体系的であること**



其の3

英語に対する
イメージを変えるべし



- ❑ 「考える」というよりは「練習する」「鍛える」のイメージで行う
- ❑ 英語を音楽やスポーツのような実技と同じ感覚でとらえる
- ❑ 完璧でなくても認める



新英語教育は共有できないまま本格化している

- ❑ 低学年から英語を学ぶ仕組みを整える
- ❑ 保護者に対して、英語教育の変化を伝える機会をもつ
- ❑ 長期的に学習できるカリキュラムを持つ
- ❑ 単元式学習方法より実践的繰り返し学習を行う
- ❑ 指導者の英語指導への意識をかえる

